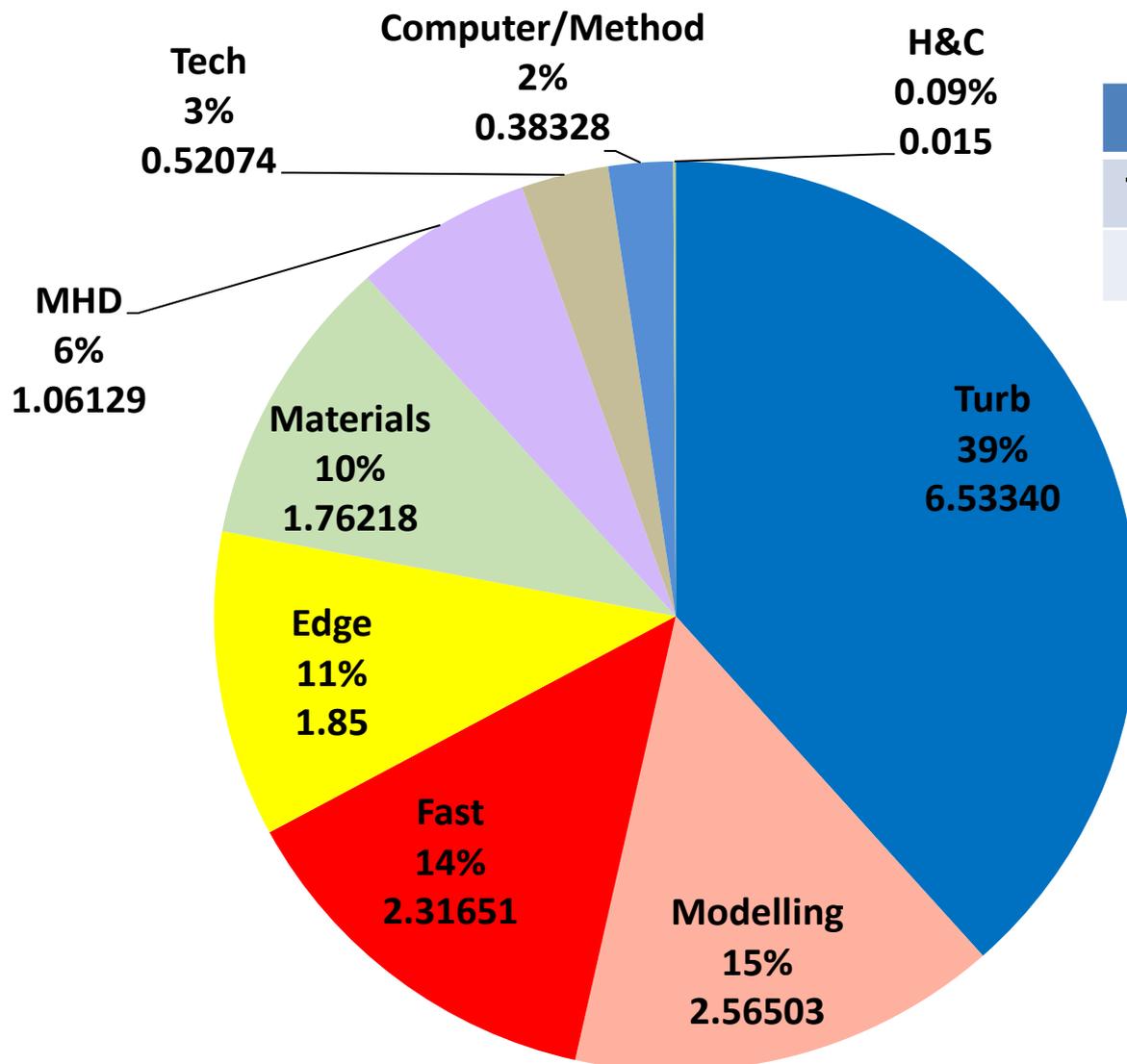


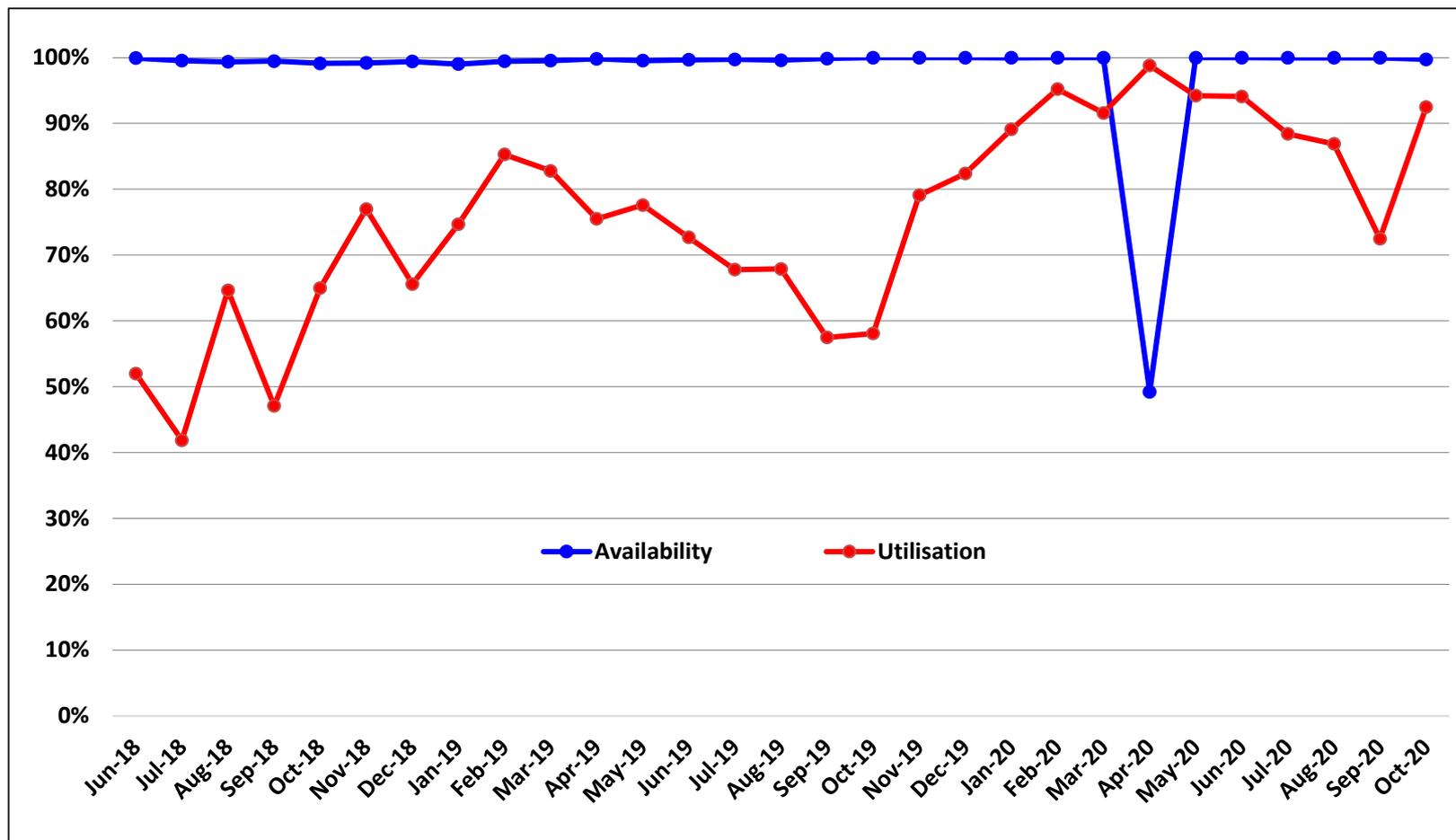
JFRS-1について

量子科学技術研究開発機構 六ヶ所核融合研究所
BA計画調整グループ
宮戸直亮

計算科学研究部会総会
第37回プラズマ核融合学会年会 インフォーマルミーティング
2020年12月3日



枠	研究課題数
プロジェクト枠	31
BA枠	31



- JFRS-1は非常に安定しており4月の年度切り替え時以外は稼働率99%以上を維持。
- 2020年はサイト停電のあった9月以外は利用率も高い。

- 4月16日の緊急事態宣言の全国拡大により、六ヶ所研の業務も原則在宅勤務になり、HPEの運用チームとCSCサポートも原則在宅勤務となったがリモートで業務を継続。
- JFRS-1はSSL-VPN接続により在宅からの利用が可能。
- キー入力がなかった場合のSSL-VPN接続の自動切断時間を5分から30分に変更し、在宅からの利用の際の利便性を向上。

- 2020年4月からBAフェーズ2の開始に伴い、JFRS-1の資源の半分をBA活動IFERC-CSC事業へ日本のホスト貢献として提供。
- 今年度は日欧で27プロジェクト(日本7プロジェクト、EU20プロジェクト)を実施中。この他、2019年に実施していた日欧プロジェクトのうち4プロジェクトを9月まで延長。
- 27プロジェクトのうち半数以上がエッジ・周辺物理に関連したもの。日本の7プロジェクトについてはプラズマ・核融合学会誌10月号の「幅広いアプローチ活動だより(87)」で簡単に紹介。
- 欧州は新型コロナの影響もあり、利用が本格化していないプロジェクトがある。

- 今年度のIFERC-CSC研究会はオンラインで開催する方向で調整中。
- 来年度のプロジェクト枠の公募は今月に開始予定。
- BA枠の公募は欧州と同時に年明けに行う見込み。